

- 1913年 秋田県に生まれた。小学校6年の時、体育教師が呼子の代わりに吹いた指の笛をまねた事が動機となり、それによって楽曲を奏でる事を思いつく。
- 1928年 15歳で上京して、社会教育の先駆者後藤静香氏の創立した日本印刷学校に入学。12月小原十三司牧師より受洗。
- 1934年 5月 指の笛に一生を託す決心のもとに『指笛』と命名して世に発表。以来指笛を音楽の域まで高めるために専念。
- 1938年 5月 第1回リサイタルを開く。東京フィルハーモニー交響楽団の協奏を得て、世界初演「指笛と管弦楽」(指揮 故・高田信一氏)を発表、世の注目をあびる。
- 1955年 賀川豊彦・堀内敬三両氏を顧問として東京音楽奉仕団を結成し、社会福祉活動に貢献する。夫婦で、ハワイ・北米・南米を演奏旅行し、10ヵ月後に124回の演奏回数を記録。特にブラジルではガゼッタ・シンフォニーオーケストラと協演。また、ニューヨークではNBCテレビより全米に放映され、大好評を博す。
- 1962年 9月 戦後日本人として始めて韓国に演奏旅行。
- 1966年 3月 台湾全島を廻る。
- 1969年 10月 初めて文部省の「芸術祭参加公演」として、指笛生活35年記念リサイタルを開く。
- 1971年 4月～7月 単身で第2回アメリカ演奏旅行。
- 1972年 3月 ニューヨークのジャパン・ソサエティ(会長ロックフェラー3世)の招きで第3回目のアメリカ演奏旅行。リサイタルは今回で28回をかさね、ラジオ・テレビ等でも活躍。
- 1980年 8月 娘達も共に、第4回アメリカ演奏旅行。ロサンゼルス・ユニオンチャーチ、ネバダ州立大学ラスベガス校等でチャリティーコンサートを開催。
- 1983年 9月 東宮御所に招かれ、現天皇・皇后陛下に指笛を献奏。
- 1984年 5月 指笛音楽50周年を記念して、5月30日、日本青年館大ホールに於いてチャリティーリサイタルを開催。
- 1986年 11月 文部省文化庁主催の第1回国民文化祭(NHKホール)の「ひと」というコーナーに家族で出演。
- 1989年 5月 指笛音楽55周年を記念して、日本青年館大ホールに於いて「感謝リサイタル」を開催。
- 1989年 6月 55周年記念のアメリカ公演として、ニューヨークのカーネギーリサイタルホールに於ける演奏会を開催。
- 1992年 10月 秋田県仙北町南小学校(出身校)に〈指笛音楽の里〉の碑が落成。
- 1993年 4月 「田村大三80歳記念公演」を、日本青年館大ホールに於いて開催。
- 1998年 12月 鹿児島県社会福祉協議会主催、ふれあいプラザにて「なのはなふれあいコンサート」に出演。
- 2000年 5月 日本歯科医学会・毎日新聞社主催、東京国際フォーラム・ホールAにて「アトラクション演奏」ミニコンサート出演。  
9月 (財)日本チャリティー協会主催、厚生年金会館大ホールにて高齢者など福祉活動推進のためのチャリティーに出演。  
9月 社会福祉法人神愛会主催、和歌山県上富田町文化会館にて神愛会30周年コンサートに出演。
- 2001年 4月 米寿記念「田村大三指笛音楽感謝コンサート」を日本青年館大ホールに於いて開催。
- 2004年 7月 「田村大三指笛音楽70周年記念コンサート」を練馬文化センターつつじホールにて開催。ここに至るまでに全国各地の小・中・高の学校を始め、病院・教会・様々な福祉施設など数多くの奉仕に貢献する。
- 2005年 10月 指笛音楽71周年記念「田村大三とその門下生による指笛音楽研究発表会」に出演する。この出演を最後に演奏活動は休止する事となり、以後自宅療養に努める事となる。
- 2010年 4月24日 97歳にて永眠。

(書籍「田村大三指笛音楽六十年」及びCD「全地よ愛に帰れ」より引用)